

つれづれよこはま : 司法書士・福井圭介

変わりゆく街並み

当所ホームページ「活動日誌」でも紹介しましたが、8月某日、遺言書保管制度を実体験しに横浜地方法務局(本局)へ出向きました。司法書士駆け出しの頃は、しょっちゅう出向いていた本局ですが、オンライン登記申請システムを導入して以来、年に一度行くか行かないかぐらいの頻度になってしまっていました。

そんな状況で、本局のある馬車道駅に降り立ってみると、周辺の空気が変わっているのを感じ、ふと周りを見渡すとその巨大なビルの存在に圧倒されました。横浜市の新庁舎が完成していたのです。

コロナ禍の前に、京浜東北線の車内から新庁舎の基礎工事をしている様子は何となく目にしていましたが、まだまだ完成は先の事だろうとどこかで思っていたまま、このコロナ禍で外出が減り、休日に家族と買い物に来ていたみなとみらいエリアもご無沙汰していたので、新庁舎がいきなりこの風景に入り込んできた?!という衝撃を受けてしまいました。

同じく衝撃を受けたのが、横浜駅西口の再開発です。先日、西口にある銀行に立ち寄った際に、常に工事用のフェンスが張られているイメージだった駅前ロータリー周辺が開放されているのに気づき、そしてコンコースへ向かうメインゲートの構造に感銘を受けました。

開放的な吹き抜けと10番線を見上げるようなスケルトン構造は、日本のサグラダファミリアと揶揄されるような長年にわたる横浜駅の開発工事風景に慣れ切っていた私の完成予想をいい意味で裏切るものでした。

コロナでうつむきがちにな日々ですが、街に出て新しい建築物をふと見上げることで、人の営みは絶えることなく続いているのだ、これからも前を向いていこう、と実感させられたのでした。

ちなみに・・・神奈川県司法書士の心臓ともいえる司法書士会館(右図)もコロナ禍の前から建て替え工事をしており、いよいよ11月に竣工することとなりました。

旧会館は外壁がベージュの3階建てでしたが、新会館は見事なベ이스ターズカラーの5階建てです(^.^)v



日々雑感 : 司法書士・清水敏博

のんびり散歩でリフレッシュ

わたしは司法書士としての通常業務に加え、地域の各種団体への参加や複数の地域課題解決のプロジェクトリーダーとして精力的に活動しており、なにかと気忙しい日々を送っています。

時にそういった仕事から距離をおき、機会を見つけては気ままにのんびりと散歩するのがとても好きです。特に自然が豊かで歴史を感じられる場所はなんとも言えない心地よさがあります。

先日のとある休日、用事を済ませた後に少し時間が取れたので小田原市にある「報徳二宮神社」へぶらりと行ってきました。



リラックしすぎて写真を撮り忘れました(ー;)「杜のひろば」HPよりお借りしました

金次郎(二宮尊徳)さんの出生地が当市であることから、明治27年に小田原城内の一角に創建された比較的新しい神社です。

この日は小田原駅から干物などの名産品を扱う商店街をぐるっと巡りながら、お城に向かって20分程度歩き、お城を横目に眺めながら自然豊かな神社の境内「杜のひろば」をのんびり散歩しました。

境内には「きんじろうカフェ」があり、そこがまた自然とうまく馴染んでとてもいい雰囲気を出しています。お昼過ぎだったこともあり多少参拝客でにぎわっていましたが、自然をぼんやりと眺め、鳥のさえずりを聞きながら一杯の地元名産の「片浦レモンサイダー」を飲み、ホッとつかの間の休息を味わうことができました。

これで年末に向け、もうひと頑張りできそうです。

相続・遺言・贈与・成年後見・老後の生活設計

発行: 司法書士法人あいおい総合事務所
横浜市戸塚区戸塚町157フタバビル203
TEL 045-862-6012 FAX 045-862-6081



さいごまでおよみいただき
ありがとうございます。
次号は来年4月ごろです。
寒くなるのでおかしに
気をつけてお過ごしください。

